

平成30年度

# 事業報告書

社会福祉法人 南伊豆町社会福祉協議会

## 平成 30 年度社会福祉法人南伊豆町社会福祉協議会事業実績報告書

### (1) 事業概要

急速に進む高齢化社会への対応として、高齢者の保健福祉・介護予防の推進、ボランティア活動の推進、社会福祉に対する人材確保、障害者の自立促進など、あらゆる面で事業の構築がなされている。これらのことを考え合わせると社協として取り組むべき事業は住民や当事者の協力が得られ、ニーズに合ったもので、協働性や専門性のあるものが挙げられる。事業推進のためには、各種の公的福祉サービスを積極的に受託し、それらを民間の立場から柔軟に運営しつつ、公的サービスでは対応できない多様なニーズにも対応できる事業を開発し、住民のあらゆる生活・福祉問題を受け止め、素早く確実に問題解決につなげる必要がある。平成 30 年度は、町より「成年後見推進事業」「生活支援コーディネーター事業」を受託し、県社会福祉協議会より「生活福祉資金貸付事業」「日常生活自立支援事業」「生活困窮者自立相談支援事業」「みんなで支える地域福祉促進事業」を受託し事業を実施した。

成年後見推進事業は実施 3 年目となり、これまでに 7 名が市民後見人養成講座を修了し、成年後見制度の受任体制の強化を図った。また、法人後見においても、後見類型 1 件、保佐類型 1 件を受任し支援を行った。介護部門では、緩和型訪問介護サービスをより充実し、地域住民自らが地域の高齢者を支える体制づくりを推進した。

### (2) 事業内容

#### 1 理事会

- 第 1 回 健康福祉センター(6 月 1 日)
- ・定款の一部改正について
  - ・評議員候補者の選任について
  - ・平成 29 年度事業報告・決算について
  - ・平成 29 年度善意銀行決算について
  - ・評議員会の招集について

- 第 2 回 健康福祉センター (12 月 27 日)
- ・上半期収支状況について
  - ・平成 30 年度補正予算について
  - ・評議員会の招集について

- 第 3 回 健康福祉センター (3 月 18 日)
- ・平成 31 年度事業計画・予算について
  - ・平成 31 年度善意銀行予算について
  - ・平成 30 年度補正予算について
  - ・給与規程の一部改正について
  - ・評議員会の招集について

#### 2 評議員会

- 第 1 回 健康福祉センター(6 月 20 日)
- ・定款の一部改正について
  - ・役員の選任について
  - ・平成 29 年度事業報告・決算について

- 第2回 健康福祉センター(1月22日)  
・上半期収支状況について  
・平成30年度補正予算について

- 第3回 健康福祉センター(3月26日)  
・平成31年度事業計画・予算について  
・平成30年度補正予算について

### 3 監事の監査

5月23日午後1時30分より南伊豆町健康福祉センターにおいて監事の監査が行われ、法人の財産の状況について正確に処理されており、また、理事の業務執行状況についても適切であると認められた。

### 4 居宅介護支援事業

介護支援専門員を2名配置し、高齢者の訪問調査、要介護認定等に係る代行申請、サービス計画の作成を行った。また、介護予防支援事業を町より受託し業務を実施した。

○ ケアプランの作成 延 669件 (平成29年度725件)

### 5 居宅介護事業

訪問介護・予防訪問介護は常勤ヘルパーと登録ヘルパーで在宅介護の援助を行い、障害者に対する居宅介護サービスも実施した。

○ 訪問介護 延 256人 2565回 (前年318人 3605回)  
○ 総合事業 延 83人 598回 (前年159人 902回)  
○ 障害者居宅 延 72人 699回 (前年 71人 862回)

### 6 心配事相談所の開設

(1) 開催期日 毎月15日 午前9時から午後3時

(2) 開催場所 南伊豆町健康福祉センター

(3) 相談員 吉沢かね子 清水 登 廣田 理 福原ふくよ

(4) 身障相談員 竹河十九巳

### 7 寿大学の開催

老人クラブ指導者層及び会員を対象に寿大学を開講し、高齢者の教養を高めるとともに生きがいの基本を養成した。

5月23日	開講式 「町政について」 南伊豆町長 岡部克仁 氏
6月18日	「伊豆海岸の自然植生と津波減衰効果」 静岡大学客員教授 増澤武弘 氏
7月18日	「落語と新聞の話」 伊豆新聞下田支社 勝田航平 氏
9月19日	「ジオパークについて」 ジオガイドの会 関本宗一 氏

10月30日	日帰り研修 箱根・富士山世界遺産センター
11月19日	「不老腸寿の秘ケツ」 市之瀬診療所医師 甲賀啓介 氏
12月11日	「高齢者の健康管理について」町健康増進課 宮本利江氏 中田亜友子氏
1月23日	「終活に向けて 想いを後世に刻む」アイザワ証券 加藤義弘 氏
2月21日	「いろいろな外国航路の船」元日本郵船一等航海士 菊池善次郎氏 氏
3月14日	「町政について」 町議会議長 斎藤要 氏 閉講式

## 8 ふれあい広場の開催

(1) 打合せ会 10月 4日 於 観光協会

(2) ふれあい広場の開催 10月21日 於 南伊豆町役場

## 9 老人給食サービス事業

各地区の公会堂、いこいの家等を利用して18地区で実施。

開催月日	地 区	参加人数	開催月日	地 区	参加人数
6月 8日	市之瀬	17	12月13日	下賀茂	33
6月19日	蛇 石	30	1月10日	吉 祥	23
10月17日	加 納・石 井	50	1月17日	手 石・上賀茂	43
10月26日	大 瀬・青 市	49	2月13日	下 流・天神原	70
11月16日	子 浦	42	2月15日	二 条	32
11月20日	毛倉野・下小野・妻良	28	合 計	18地区	466
12月 4日	仲 木	30			

協力者 JA伊豆太陽ボランティアグループ「ゆけむりの会」

## 10 ボランティア育成事業

(1) ボランティア活動保険への加入317名（災害ボランティア保険38名）

(2) 災害ボランティア

南伊豆災害ボランティアコーディネートの会と協力し事業を実施。毎月1回定例会を開催。

6月18日 防災講演会「伊豆半島の自然植生と津波減衰効果」増澤武弘氏

7月21日・28日 西日本豪雨募金活動

10月21日 フェスタ南伊豆参加 非常食の試食・防災啓発

1月19日～20日 災害ボランティアコーディネーター養成講座

2月23日～24日 静岡県内外の災害ボランティア図上訓練

### 1 1 生活福祉資金貸付事業

県社会福祉協議会より貸付事務の一部を受託し、低所得世帯、高齢者世帯、障害者世帯に対する生活福祉資金貸付事業を実施した。

貸付世帯数及び件数 5世帯 7件（平成31年3月31日現在）

### 1 2 日常生活自立支援事業

生活支援員2名を配置し、認知症高齢者、障害者の権利擁護のための日常的金銭管理、福祉サービス利用援助事業を実施した。

平成30年度利用者数 2名 支援回数延べ 24回

### 1 3 募金活動

#### (1) 赤い羽根共同募金

募金実績	戸別募金（34区）	1,249,415円
	職域募金	13,881円
	街頭・その他	9,222円
	合 計	1,272,518円

#### (2) 歳末助け合い募金

募金実績	戸別募金（34区）	1,239,900円
	個人募金・その他	16,397円
	合 計	1,256,297円

\*歳末助け合い運動配分内訳

使 途	対象人員	配分額
低所得世帯	18世帯	303,000円
寝たきり高齢者	17人	85,000円
重度障害者	78人	234,000円
施設入所者	81人	243,000円
合 計		865,000円

### 1 4 生活困窮者自立相談支援事業

県内12町社協、県社協、NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡とふじのくに生活困窮者自立支援コンソーシアムを結成し、引きこもりや低所得者の生活、就労に関する相談支援事業を実施した。

平成30年度相談受付件数 19件

1 5 生活困窮世帯学習支援事業

生活保護受給世帯及び生活困窮世帯の子どもを対象に学習の場を提供し、生活困窮世帯の子どもの学習能力、学習意欲の向上を促進することにより、生活困窮世帯の子どもの自立促進を図った。

夏季12日間 延251人参加      冬季4日間 延25人参加  
平日17日間 延147人参加

1 6 成年後見事業

賀茂地区1市5町社会福祉協議会で成年後見業務協定を締結し、市民後見人養成講座を開催し、平成30年度は2名が修了した。法人後見への取り組みも推進し、後見類型1件、保佐類型1件を受任し後見業務を行った。

また、成年後見制度に関する広報、啓発活動や、制度に関する相談への対応を行った。

市民後見人養成講座 9月8日～2月16日(全10回 45時間)  
2名が修了(累計7名)

1 7 地域住民活動活性化事業（みんなで支える地域福祉促進事業）

住み慣れた地域で安心して暮らしていけるような居場所づくりを推進し、趣味活動に参加して生きがいづくりをする場を提供する目的で実施。また、ボランティアグループの活動を支援し、活動の活性化を図った。

実施内容 発達相談 子ども体操教室 草木染教室 陶芸教室  
ボランティア団体助成 視覚障害・聾者に関する講座 等